

7 就業支援の充実と産業人材の育成

(商工労働部)

<ねらい>

若年者の失業率は依然として高く、また、特に「就職氷河期」にフリーター等になった若年者や障害者にとっては厳しい雇用環境が続いているため、就業支援を充実します。大量退職が始まった団塊世代*を中心とする中高年齢者の多様な就業ニーズに応える取組みを推進します。

また、企業や個人の多様なニーズに対応するため、高等職業技術校の再編や民間教育機関などとの連携により職業能力開発を推進するとともに、技術・技能の継承を支援します。県民の技能への関心を高め、若手技能者などの能力向上を支援するため技能五輪全国大会などを開催します。

<めざすすがた>

フリーター等の状況に置かれていた若年者の正規雇用が進むとともに、障害者の方々が多くの企業に多数就職し生き生きと働き続けています。働く意欲のある中高年齢者は、各々のニーズに応じた多様な働き方を選んでいます。

また、民間教育機関などとの連携が進み企業や個人のニーズに的確に対応した職業能力開発が推進されるようになり、技術・技能を継承するしくみも整います。さらに、2010年度の技能五輪全国大会とアビリンピック全国大会の本県開催を通じて、将来を担う若手技能者などが育成されます。

<数値目標>

目標① 若年者(15～24歳)の完全失業率

(単位：%)

実績(2005)	現状(2006)
7.3	6.6

(神奈川県労働力調査結果報告)

2007	2008	2009	2010
6.6	6.5	6.5	6.4

目標② 障害者雇用率(事業所所在地集計)

(単位：%)

実績(2005)	現状(2006)
1.55	1.60

(厚生労働省の調査) ※ 毎年6月1日現在の数値

2007	2008	2009	2010
1.65	1.70	1.80	1.92

目標③ 「かながわ人材育成支援センター」での中小企業等からの職業能力開発に係る相談件数(単年度)

(単位：件)

実績(2005)	現状(2006)
765	1,148

(雇用産業人材課調べ)

2007	2008	2009	2010
1,400	1,600	1,750	1,900

※ なお、産業振興関係のプロジェクトなどにより新規求人数50万人(2010年度)をめざします。

<取り組む事業>

フリーター等の若年者には「かながわ若者就職支援センター」でのキャリアカウンセリング*などにより、また障害者に対しては障害者しごとサポート事業等により就業支援に取り組みます。団塊世代*を中心とする中高年齢者には「シニア・ジョブスタイル・かながわ」で多様な就業ニーズに対応します。

また、企業や個人のニーズに的確に対応した職業能力開発を推進するために高等職業技術校を再編・統合して新しい総合型の職業技術校2校にするとともに、民間教育機関などと連携して「かながわ人材育成支援センター」での相談機能等を充実します。技術・技能の継承を支援するため、企業ニーズに応じた在職者訓練などを実施します。さらに、県民の技能への関心を高め、若手技能者などの能力向上を支援するために、技能五輪全国大会及びアビリンピック全国大会を2010年度に本県で開催します。

	構成事業	取組内容 (実施主体)	現 状 (2006 見込)	年度別計画			
				2007	2008	2009	2010
1	フリーター等若年者の就業支援 利用者のニーズに応じて、「かながわ若者就職支援センター」におけるキャリアカウンセリング*や各種就業支援事業の内容の充実を図ります。	「かながわ若者就職支援センター」へのカウンセラー配置 (県)	人 13	人 13	人 13	人 13	人 13
		各種就職支援セミナーの実施 (県)	日間 32	日間 37	日間 37	日間 42	日間 42
		街頭就職相談などでのカウンセリング実施 (県)	回 12	回 25	回 25	回 30	回 30
2	障害者の雇用拡大と地域に密着した就業支援 障害者しごとサポート事業による障害者雇用促進の地域展開を拡充するほか、障害者の雇用拡大及び定着支援のための各種就業支援事業を実施します。	「障害者しごとサポーター ^注 」の配置 (県)	人 4	人 6	人 10	人 13	人 16
		知的障害者職場指導員の設置に対する補助 (県)	人月 500	人月 500	人月 500	人月 500	人月 500
		「障害者就労相談センター」による事業所訪問 (県)	箇所 1,050	箇所 1,050	箇所 1,050	箇所 1,050	箇所 1,050
3	団塊世代*を中心とした中高年齢者の就業支援 「シニア・ジョブスタイル・かながわ」の運営などの充実により、中高年齢者の多様な就業ニーズに対応します。	「シニア・ジョブスタイル・かながわ」へのカウンセラー、専門相談員の配置 (県)	人 4	人 5	人 5	人 5	人 5
		各種就業支援セミナーの実施 (県)	日間 32	日間 45	日間 45	日間 45	日間 45
4	総合型職業技術校の整備及び民間機関との連携強化による産業人材育成の推進 高等職業技術校を新しい総合型の職業技術校2校に再編・統合します。また、民間教育機関などと連携し企業や県民の職業能力開発を支援する「かながわ人材育成支援センター」の相談機能等を充実します。	東部総合職業技術校の整備 (県)	工事着工	工事 竣工	開校	—	—
		西部方面職業技術校(仮称)の整備 (県)	調査設計	基本設計	実施設計・工事着工	工事着工	工事竣工
		「かながわ人材育成支援センター」でのキャリアコンサルティング*の実施 (県)	週3日	週5日	週5日	週5日	週5日
5	技術・技能の継承支援 中小企業などにおける技術・技能の継承を支援するため、在職者訓練を実施するとともに、職業訓練を行う企業・民間団体への支援を充実します。	オーダー型の在職者訓練の実施 (県)	日間 496	日間 508	日間 520	日間 520	日間 520
6	青年技能者技能競技大会全国大会及び全国障害者技能競技大会の神奈川県での開催 青年技能者技能競技大会(通称:技能五輪全国大会)並びに全国障害者技能競技大会(通称:アビリンピック全国大会)を2010年度に本県で開催します。また、本県選手の育成支援を行い、全競技種目への出場をめざします。	技能五輪全国大会及びアビリンピック全国大会の本県開催(県、中央職業能力開発協会、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構)	2010年度本県開催の決定	基本計画の検討、準備委員会の設置	基本計画の策定、実行委員会の設置	事業実施計画策定、協賛企業等の募集	大会開催、協賛企業との併催イベント等の実施
		技能五輪全国大会への本県選手出場(民間)	12競技種目に出場(全種目:45)	15競技種目に出場	30競技種目に出場	全競技種目に出場	全競技種目に出場
		アビリンピック全国大会への本県選手出場(民間)	7競技種目に出場(全種目:32)	—(大会休止)	15競技種目に出場	25競技種目に出場	全競技種目に出場

注 身近な地域で障害者の雇用の促進を図ることを目的として、福祉的就労から一般就労(労働関係法に基づき、事業主に雇用されること)の促進、企業での職場定着などについて、雇用分野と福祉分野の両面から障害者の雇用に係る各種支援を行うために、配置する非常勤職員のこと。